



ホソバイヌタデ	<i>Persicaria erectominor</i> (Makino) Nakai var. <i>trigonocarpa</i> (Makino) H.Hara	準絶滅危惧
(環境省: 準絶滅危惧)		タデ科
選定理由	生育地には比較的多産するが、分布が限られているうえ、生育環境が人里近くであり、人為的攪乱によって絶滅する恐れがあると判断される。	<p>写真(奥田和利)</p> 
形態の特徴	一年草。茎の下部は地をはい、上部は直立し、高さ30-50cmになる。葉は線形一披針形、裏面に盤状の腺点が散在し、先は次第に細まり、基部は楔形である。	
生態的特徴	河川敷や水路の周辺の道端に生育する。	
分布状況	北海道と本州(近畿以北)に分布する。岐阜県では、羽島市など木曾川・長良川・揖斐川の下流部に分布する。	
減少要因	生育地が人里に近いいため工事や土地の人工的攪乱等により環境の悪化。	
保全対策	開発や河川敷の工事等に注目し、生育地の保全に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責: 須賀瑛文